

2018年（平成30年）9月7日
日本貨物鉄道株式会社

「平成30年北海道胆振東部地震」による貨物列車の影響について （9月7日16時現在）

2018年（平成30年）9月6日午前3時7分に発生した北海道胆振地方を震源とする「平成30年北海道胆振東部地震」により、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様方にお見舞い申し上げます。

この地震の影響により、北海道内を中心として現在も貨物列車の運転ができない状況となっており、ご利用の皆様にご迷惑をお掛けしておりますこととお詫び申し上げます。

今後もJR旅客会社と連携し、運転再開に向けて準備を進めてまいります。

1. 貨物列車の運行を見合わせている区間（昨日から変更ありません）

・北海道内全域

津軽線・海峽線・道南いさりび鉄道線 青森信号場・函館貨物 間

函館線 函館貨物・長万部 間

札幌貨物ターミナル・旭川 間

室蘭線 長万部・沼ノ端・岩見沢 間

千歳線 沼ノ端・札幌貨物ターミナル 間

宗谷線 旭川・北旭川 間

石北線 新旭川・北見 間

石勝線 南千歳・新得 間

根室線 滝川・富良野 間

新得・釧路貨物 間

※ JR旅客会社ならびに弊社ホームページ「現在の輸送状況」も御覧ください

2. 貨物列車の運転状況

北海道新幹線および千歳線の一部区間（札幌～新千歳空港間）において、旅客列車は運転を一部再開しておりますが、その他の区間について未だ不通となっているため、上記区間を走行する貨物列車について、引き続き全て運転を中止しています。

なお現在のところ、運転再開の見通しはたっておりませんが、見込みがたち次第、改めてお知らせいたします。

※ JR旅客会社ならびに弊社ホームページ「現在の輸送状況」も御覧ください

（参考）本州・北海道間の鉄道貨物輸送の概要

列車本数 定期40本臨時11本（合計51本）

平日一日当り輸送量（2017年9月実績） 約21,000トン/日

※ 北海道内のみの輸送量も含む。

主な品目 北海道着 宅配貨物、飲料水、加工食品、書籍等

北海道発 農産品（馬鈴薯、玉ねぎ）、自動車部品、紙製品等